

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 山本 知也 殿

隊員氏名 大崎 祐暢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2023年2月分】

1. 実施した活動の概要・状況

今月は月の始めにスノーライトフェスを開催し、スノーライトフェスが終わった後は反省と振り返りをまとめながらマタギの企画チェーンの準備の手伝いをし、そのあとは食育事業のまとめと冊子の作成をし、そのあとにワインとジャズのイベントの準備を手伝いと、次から次へと課題が続く、まるで梅雨のジメジメが続くような月でした。それでも、一つ一つ確実にクリアしていくことで終わりが無いわけではないことと、全てが終わった後の達成感をいくつも味わえる充実した1ヶ月でした。

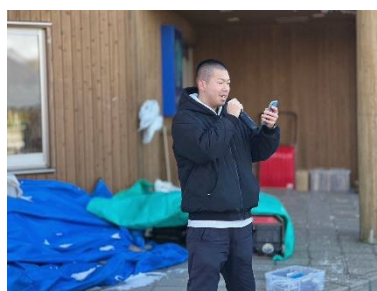
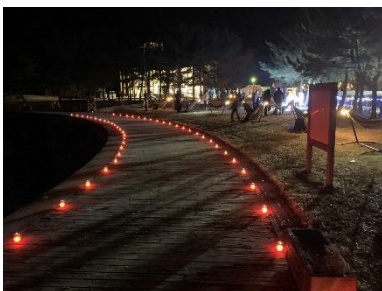
（主な活動）

◇2月3日（土） スノーライトフェス 2024 in 川内

昨年度に引き続き開催したスノーライトフェスですが、今年度は雪が無い中の開催でした。雪が無いということでコンテンツは昨年度とは異なり、開催日の「節分」にちなんだコンテンツを盛り込んで、冬を楽しむイベントとして開催しました。

今回のイベントで、雪だけが川内の魅力ではないんだなと感じました。雪とそこに生きる人たちがいて、初めてそれが「魅力」となることに気が付きました。雪が無くても全力で楽しんでくれた方がいたこと、雪が無くても楽しいイベントづくりはできること、そのイベントと一緒に作ろうとしてくれる地域の方がたくさんいること、これは、雪が無いからこそ気づくことができたのではないかと思います。

これからも地域おこしは続けていくのですが、地域の環境的な魅力だけでなく、地域の方にもどんどん関わって、「人の魅力」も発信できるように努めていきます。



◇2月16日（金） スノーライトフェス 2024 in 川内 反省会

3日（土）に開催した「スノーライトフェス 2024 in 川内」にご協力いただいた Reborn かわうち実行委員会の方々と反省会を行いました。次につなげることはもちろん、「地域の方々が自分たちで作っている」ということを認識していただくために反省会を行いました。

意見としては「寒かった」「メインのコンテンツが欠けていた」「開催しただけで十分だった」「花火良かった」などがあり、秋のライトアップフェスだけでなく、冬のスノーライトフェスも地域が継続していくためにどうしたら良いかを共有することができました。

昨年度は、「こんな楽しいことができるんだよ！」と、今年度は「これ続けた方が良いですよ？やりましょうか！」の段階でした。「地域おこし協力隊がいなくなったから継続できません」とならないように、徐々に地域に移行できるよう、来年度も引き続き開催していきます。雪があるパターン、雪が無いパターンを経験できたので、来年は準備段階から2通りの予定を立てようと思います。



◇2月24日(土) ワインとジャズの夕べ 手伝い

昨年度は自分が主担当として行った、下北ワインとジャズの夕べですが、今年度は主担当ではない立場で参加しました。昨年度はしもきた TABI あしすとにほぼ委託していたのですが、今回はそれを主担当の村上さんがやっていて、その大変さを見て、昨年度の自分の動きを後悔しました。同時に、このイベントの土台を作ってくれた、しもきた TABI あしとの大下さんには改めて感謝したいと思います。

村上さんにとっては初の主担当のイベントで、自分にとっては経験したことがあるイベントでしたが、1年で世の中の物価事情が大きく変わっていることに気づきました。また、次につなげるイベントづくりと、ただやるイベントづくりの違いを知ることができました。

これからもいろいろな企画を実施していきますが、常に「次」を考えて準備、実施、振り返りをしていこうと改めて思いました。



2. 翌月の活動予定

3月は年度末で、まとめる作業、準備する作業が増えると考えられます。次につなげることを常に考えて、日々行動していきたいと思っています。

3月 16日 マタギの座談会

3月 22日 成果報告会